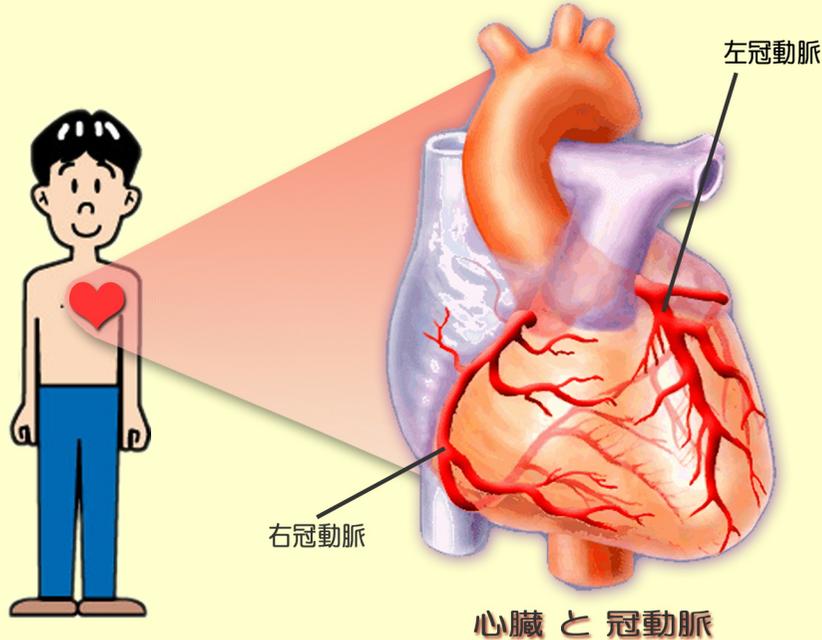


Q.1 何の検査？

A かんどみやく 冠動脈 CT は、きょうしんしょう 狭心症・しんきんこうそく 心筋梗塞を調べる検査です。

冠動脈 CT は、心臓を養っている冠動脈と呼ばれる血管に、狭いところ、ふさがっているところがないかを調べる検査です。

心臓は、血液を送り出すポンプの働きをしており、その血液は体中に酸素や栄養を運んでいます。また心臓も、働くために酸素や栄養が必要で、冠動脈といわれる血管で養われ、動いています。その冠動脈が、狭くなったり、詰まったりする事が原因で、**狭心症**や**心筋梗塞**になります。

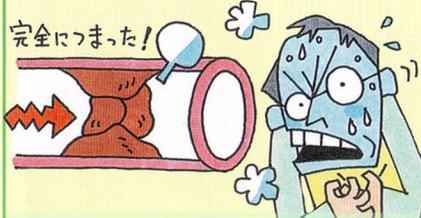


狭心症 (きょうしんしょう)



※重いものを運んだり、階段をのぼったりと、労作時に胸が締め付けられるような感じがする。安静にすると治まる。

心筋梗塞 (しんきんこうそく)

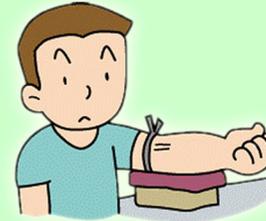


※激しい胸の痛みがある。痛みは狭心症の痛みより強く、長時間継続する。心不全や不整脈などの合併症がある。

Q.2 どんなふうにするの？

A 腕の血管（静脈）より、80cc 前後の造影剤を注入しながら、CT 装置を用いて撮影を行います。約 10～15 秒の息止めで、撮影は終了します。検査は、絶食で行います。

CT 装置で血管を鮮明に調べるために、造影剤が必要です。また、検査は撮影中の息止めがとても重要になります。



Q.3 検査時間は？

A 検査は、15～20 分程度で終わります。

検査の説明や息止めの練習、また心臓の位置確認のための撮影をしたり、造影剤の注射の準備をしたりします。実際に、撮影している時間は、10～15 秒前後です。 ※患者さんの心拍や息止め、造影剤を注射する血管の状態によって、多少検査時間に違いはあります。

Q.4 費用は？

A 検査費用は、3 割負担額で 7,000 円前後です。

不整脈がある、造影剤のアレルギーがある、心拍数が 80 以上と早い、また 10～15 秒の息止めができない場合は、検査ができないかまたは、良い画像が得られないことがあります。